

第52回平塚市少年少女剣道大会開催要項

- 1 目的 少年少女を対象に、剣道を通して体力の向上と質実剛健の気風を養い、併せて健全育成を目的とする。
 - 2 主催 平塚なでしこライオンズクラブ・平塚市教育委員会
 - 3 主管 平塚市剣道連盟
 - 4 後援 平塚市スポーツ協会
 - 5 期日 令和5年10月8日（日）午前9時から午後5時まで
開会式 午前9時30分～
 - 6 会場 トッケイセキュリティ平塚総合体育館 第1体育室
 - 7 参加資格
 - (1) 本市に在住、在学または平塚市剣道連盟に登録している小学1年生から中学3年生まで。
 - (2) 小学校通学区域又は支部単位で編成すること。また、個人参加もできる。
なお、参加者は、保護者の同意のもとに参加申し込みをし、大会当日は監督及び代表者（保護者を含む）が同伴すること。
 - 8 種目
 - (1) 個人戦
男女別及び各学年別とする。但し、参加人数により学年を統合する事もある。
 - (2) 団体戦（小学生のみ）
 - ア チーム編成は、小学校通学区域又は支部単位で3～5人/1チームとする。
ただし、小学校通学区域又は支部単位で参加人数により1チーム編成できない場合は小学校通学区域又は該当支部に承諾を得た上で、混成チームを編成することができる。
 - イ 原則、1団体につき1チームまでとする。
- （ 5人未満のチームの場合の空きポジションについては下記とする。
1) 4人/チームの場合は、「次鋒」を空ポジションとする。
2) 3人/チームの場合は、「次鋒」と「副将」を空ポジションとする。 ）

- 9 試合方法 全日本剣道連盟試合規則及び審判規則に準ずる。
- (1) 個人戦及び団体戦ともにトーナメント方式を基本とし、参加数によりリーグ戦を取り入れる。
 - (2) 個人戦の勝負は、3本勝負とし、試合時間は2分30秒、延長戦は1本勝負とする。なお、時間は2分30秒ごとに区切って勝敗の決するまで行う。また、2回毎に休憩を入れる。
 - (3) 団体戦の勝負は3本勝負とし、試合時間は2分30秒、延長なし、引き分け有りとする。勝ち点、勝者数、総取得本数の順で勝敗を決し、同率の場合は最後に代表者(任意)同士による一本勝負により勝敗を決する。時間は無制限とする。
 - (4) 個人戦及び団体戦共にリーグ戦の場合は、ポイント制を用いて順位を決定する。
 - (5) その他、細部及び変更点については監督会議で協議の上、合意を持って決定する。

10 申し込み

- (1) 個人戦及び団体戦のいずれにも申し込むことができる。
- (2) 申し込み先 平塚市浅間町9-1 平塚市役所本館7階703窓口 スポーツ課
電話：31-3060 FAX：34-5522
Mail：sports@city.hiratsuka.kanagawa.jp
- (3) 締め切り 令和5年9月1日(金)午後5時まで
- (4) 参加料 無料

11 表彰

- (1) 団体戦優勝チームに優勝旗・賞状・メダルを、準優勝及び第3位のチームに賞状・メダルを授与する。
- (2) 個人戦優勝者に、優勝トロフィー・賞状・メダルを、準優勝及び第3位の者に賞状・メダルを授与する。

12 監督会議及び団体戦組み合わせ抽選会

- (1) 期 日 令和5年9月28日(木) 午後7時～
- (2) 会 場 平塚市教育会館 実技研究室 (※詳細は別途通知いたします)
- (3) その他 監督は出席すること。出席できない場合は、代理の者が必ず出席すること。

13 新型コロナウイルス感染症について

今大会の実施にあたって、選手・審判員・スタッフは全日本剣道連盟(令和5年7月12日付け)のガイドラインに基づいて行う。大会までに改定があった場合は、それに準ずる。なお、前年度実施した「当日参加者名簿」の提出は不要とする。

【全日本剣道連盟ウェブページ】

<https://www.kendo.or.jp/information/20210512/>

(1) 選手が感染した場合の出場可否について

- ・発症した翌日から5日を経過し、かつ、症状軽快後1日経過した場合は出場可能とする。
- ・無症状での感染が判明した場合、検査日の翌日から5日を経過した場合は出場可能とする。
- ・症状軽快後も選手の体力低下が懸念されるため、出場可否については、保護者およびチーム内でよく協議した上で判断すること。

(例：10月2日(月)発症の場合…翌日3日(火)を1日目とし、8日(日)の6日目から出場可能)

10/2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)
コロナ発症	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目 症状軽快 療養期間終了	6日目 出場可能
	●					●

(2) 同居家族に感染者が出た場合について

- ・選手本人に症状が無い場合は、出場可能とする。

(3) マスクの取扱いについて

- ・保護者のマスクの着脱については、マスク着用が望ましいが、個人の判断に委ねるものとする。
- ・マスクを着用する場合は、適宜マスクを外して水分補給を行う等、熱中症のリスクを十分に考慮した上で着用すること。
- ・マスク着用の有無による差別・偏見等がないよう、チーム内で適切に指導をすること。
- ・試合中の注意点として面マスクまたは、シールド着用(マスクは口と鼻を確実に覆うものとする。シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない。)
シールド着用の場合には、シールド下部に飛沫防止用のフィルタースポンジを着用することが望ましい。

14 その他

- (1) 参加者が健康に十分留意するよう監督は配慮する。
- (2) 体育館内は土足厳禁のため、各自上履及び下足入れを用意する。
- (3) 団体戦組み合わせ抽選は、申し込み順に行う。
- (4) 団体戦の選手変更の場合は各会場係へ報告すること。

以上